授業改善等に関する報告書（2024年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2024 (後期) 国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
Japanese Linguistics	山内 博之	日本語学習者からの質問に英語で答え、それを文章にして毎週提出する、というハードな授業でしたが、ほとんどの人が毎週しっかり課題を提出してくれ、いつも「すごいなあ」と思っていました…。私が一番主張したかったのは、伝えたい内容をうまくまとめる、ということが、英語そのものより重要だ、ということです。相手にどうしても伝えたいと思う内容があり、それをうまくまとめる力があるなら、英語は何とかできるのではないかと思います。1学期間、お疲れさまでした！！
漢文学基礎演習 2	秋谷 幸治	例年の授業と同じように、知識を身につける時間と学生自身に考えさせる時間の両方をしっかり設けることを心がけました。後者については、毎回の授業において数分程度の時間を設け、さまざまな設問（例えば孟浩然「春暁」詩に関して、春の到来を感じる風物を感じてもらおうなど）をmanabaのアンケートフォームにて答えてもらい、各学生の解答を紹介しながら、授業を進めていきました。また入声字が使われた地名や人名をクイズ形式で探してもらいながら、四声や平仄に関する知識を深めてもらいました。みんなが興味を持って取り組んでくれました。授業アンケートの結果を見ると、「漢詩における様々な表現、漢詩の楽しみ方を知りました」といった肯定的なコメントを複数もらいました。来年度もこのように、学生の身近な事柄から中国文学を捉えるというアプローチで授業を進めていきたいと思っています。
漢文学基礎講読 b (abクラス)	田中 靖彦	本授業に対し高い評価をいただき、誠にありがとうございます。また、「苦手意識のあった漢文が前より好きになった」「前期から通じて楽しい授業だった」「苦手な漢文をあきらめずに最後までやり遂げることが出来た」といったコメントもいただき、大変嬉しく思います。授業の進行速度が速めだったと感じた方もいらっしゃったようですので、今後の課題とさせていただきます。
漢文学基礎講読 b (cdクラス)	田中 靖彦	本授業に対し高い評価をいただき、誠にありがとうございます。また、「難しかったけど面白かった」「生徒に寄り添った考え方をしてくれて嬉しかった」といったコメントもいただき、大変うれしく思います。今後ともよりよい授業を目指してまいりますので、よろしくお願いいたします。
漢文学基礎講読 b (efクラス)	田中 靖彦	本授業に対し高い評価をいただき、誠にありがとうございます。「面白く分かりやすかったので一限でも頑張れた」「もともと三国志演義は知っていたが、正史の三国志との違いがとても面白かった」といったコメントもいただき、大変励みになります。授業の進行速度は、ちょうど良いと思われた方と、進みが早いと思われた方がいらっしゃったようでしたので、今後の授業ではさらに適切な進め方を検討してまいります。
近現代文学演習 2	ブルナ, ルカーシュ	皆さん、よく頑張りました。授業では、短編と長編、猫を扱ったさまざまな小説を読みましたが、それぞれの作品を丹念に読み解き、執筆背景や同時代評価、先行研究などを調べることによって、作家や作品の特徴、同時代の社会や文化など様々な要素が見えてくることをこの授業で再確認し、卒業論文の執筆に向けていい勉強ができたのではないかと思います。
近現代文学演習 2	棚田 輝嘉	回答ありがとうございます。よい評価を頂き、ホッとしています。ただ、4という評価も比較的多かったので、今後5の評価をもらえるよう、さらに授業方法を改善していきます。
近現代文学演習 2	大原 祐治	「子ども」を主題とするいくつかの文学作品について討議を行いました。毎回の発表者とコメントーターが作品をしっかり読み込んで準備していたので、実りのある議論になりました。自分なりの論点を見つけ出し、文献調査をふまえて立論する、という作業の中で培った力を、来年度の卒業論文執筆において活かしてください。
近現代文学基礎演習 2	大原 祐治	毎回、テキストの細部にこだわって討議する演習形式の授業に慣れ、「研究」の対象として文学作品を読み込むという作業に手ごたえを感じとった人が多いようです。来年度の演習授業やその先にある卒業論文の執筆でも、この手ごたえを忘れずにいてください。
近現代文学基礎演習 2	棚田 輝嘉	授業評価ありがとう。概ね好評だったので、ホッとしています。ただ、授業進行については、遅れがちで、申し訳ありませんでした。思いっきりつめこんでしまった結果です。今後のシラバスにいかしたいと思っています。
近現代文学研究 b	大原 祐治	「食」という身近なテーマに着目しながらさまざまな文学作品を読み解くことに手ごたえを感じた人が多かったということが、毎回提出してもらったコメントからも窺えました。文学作品と現実とのあいだからどのような思考を引き出すのか、ということについて、今後も考え続けてください。

[2024（後期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
近現代文学研究 b	ブルナ, ルカーシュ	今回はプロレタリア文学について学びました。古くさくてわかりにくいというイメージが、みなさんのほうにもあったかもしれませんが、この授業を通して、プロレタリア文学に描かれる様々な問題は、今の現代社会にも通じるということが見えてきたのではないかと思います。過去の文学作品を読みながら、今の社会、今の自分を考える、というのは文学作品のもっとも刺激的な、そしてもっとも必要な読み方です。みなさんもぜひ、どのような作品を読むにしても、このような読み方を実施してみてください。
近現代文学史 b	棚田 輝嘉	回答ありがとうございます。 概ね好評価でホッとしています。 ただ、オンデマンドという関係上、双方向性において、まだまだ検討の余地があると感じました。 来年度の授業に活かしていきたいと思っています。
近世文学演習 2	佐藤 悟	特にありません。
近世文学研究 b	佐藤 悟	特にありません。
近代文学基礎講読 b (abクラス)	大原 祐治	1限の授業ということもあって、欠席回数が増えてしまった人も一部にいたようですが、多くの方はしっかり準備した上で出席することができていたようです。「研究」の視点で文学作品を精読するとはどういうことなのか、今後の大学での学びの中で活かしてください。
近代文学基礎講読 b (cdクラス)	ブルナ, ルカーシュ	半期を通して林芙美子の「放浪記」という名作を読みました。みなさんはこの作品をどのように読みましたか。作品の執筆背景、作者自身の状況、作品の言葉、文体、構成、作中に出てくるさまざまなキーワードなど、作品について多角的に考えてきましたが、この作業を通して、林芙美子という作家と、「放浪記」という作品のイメージ（そのイメージが学生ひとりひとり違うでしょう）が見えてきたのではないかと思います。これからも、この授業で学んだことを生かしながら、どの作家や作品についても、つねに多角的なアプローチで考えてみることにしてみてください。
古典文学基礎講読 b (efクラス)	越後 敬子	授業内容を深く理解できなかった学生さんがいたことは残念です。 次年度以降解説に工夫をこらしたいと思っています。 提出した資料を事前に添削してほしいというご意見がありましたが、提出された資料をそのまま授業資料に使用するため、必ず資料作成前に相談に来るよう話してあります。 また各自の発表について平等ではないとのコメントがありましたが、担当箇所によって難易度が異なるため、発表の出来の善し悪しは成績評価には入れていません。毎回の配付資料を正しく訂正してあれば、試験はできたと思います。
国語学演習 2	福嶋 健伸	本授業の「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」の数値は4.65であり、当該区分平均の4.43や、全体平均の4.42を上回っている。また、「どの受講者も力作を持ってくるため、モチベーション高く授業に参加できた。」「とても面白い授業でした。文学部という割には作品を書いたりそれらを発表しあう機会があまりなかったのも、やりたかったようなことができてよかったです。」「とても意味のある授業だと思いました。」というような肯定的なコメントも多く、授業のねらいは成功したと判断できる。
国語学演習 2	山田 里奈	この授業では、担当範囲内で気になる事象を見つけ、それについての論文紹介と調査をしてもらって発表していただきました。コメントで、「発表者への質問や感想をレスポンスで共有することにより、様々な意見をもらうことができた」と書いてくださった人がいましたが、自分の発表だけでなく、他の人の発表も真剣に聞いてコメントしている姿が見られ、お互いに成長できたのではないかと思います。自分でテーマを決めるというのは難しかったかもしれませんが、各自が自分なりの考察を発表できていたと思います。
国語学概論 b (abクラス)	福嶋 健伸	本授業の「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」の数値は4.62であり、当該区分平均の4.43や、全体平均の4.42を上回っている。また、「一見全く国語学とは関係がない事柄から説明されていて分かりやすかったし面白かった。」「動画を用いて説明してくれたのがとてもわかりやすかった。」「教授の話し方が上手で面白かったです。」「複雑な日本語について分かりやすく解説してくれて、理解しやすかったです。楽しい授業をありがとうございました。」というような肯定的なコメントも多く、授業のねらいは成功したと判断できる。
国語学概論 b (cdクラス)	山田 里奈	身近な日本語について考えるきっかけになったという感想を書いてくださった人が何人かいました。普段の生活で授業の内容を思い出してもらえたら嬉しいですね。そして、興味をもった分野については、授業の内容にとどまらず、関連する論文を調べて、理解を深めていってもらえればと思います。アンケートの結果から、予習・復習の時間を取る人が少なかったようですので、課題や文献の紹介等、工夫していこうと思います。

[2024（後期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
国語学基礎演習 2	福嶋 健伸	本授業の「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」の数値は4.80であり、当該区分平均の4.43や、全体平均の4.42を上回っている。また、「一人ひとり違った論文を扱うことで幅広く知識を得ることができる点がとてもよかったです。なにより、先生の説明がわかりやすく、最後まで楽しく授業を受けることができました。1年間ありがとうございました。」 「色々な人の論文の解説が聞けて楽しかったです。」というような肯定的なコメントも多く、授業のねらいは成功したと判断できる。
国語学基礎演習 2	山田 里奈	この授業では、江戸時代の待遇表現をテーマに、担当範囲からテーマに合った表現を見つけ、論文を紹介し、日本語歴史コーパスを用いて調査をして発表していただきました。初めてコーパスを使う人がほとんどだったと思いますが、試行錯誤をしながら調査を行ない、自分なりの考察と発表ができていました。自分の発表だけではなく、他の人の発表に対しても積極的に質問や感想を書き込む人が多く、いい雰囲気の授業になったと思います。
国語学研究 b	吉田 雅子	アンケートへのご協力ありがとうございました。今後の授業運営に役立てていきたいと思っております。この授業で学んだことを今後にかかしていただければ幸いです。
国語史 b	山田 里奈	この授業では、近世以降の日本語の歴史について扱いました。ほぼ毎回ある小テストへの取り組みを見ていると、ほとんどの人が欠席することなく取り組んでいました。また、意見を書く課題でも、自分なりの考えをきちんと書いていました。毎回の課題は大変だったかと思いますが、よくついてきてくださっていたと思います。普段使っている日本語の歴史と現在について考えるきっかけにいただければと思います。
国文学マーケティングプロジェクト	深澤 晶久	国文学マーケティングプロジェクトを受講いただきありがとうございました。今年もやる気に満ち溢れたメンバーとともに過ごせたことに感謝いたします。叶匠寿庵様のご配慮もあり、視察研修も、とても中身の濃い内容になりました。そして企業案内の内容も素晴らしいものでした。国文学の学びが実社会で大きく活かせることを実感いただいたのではないかと振り返っています。さらに学びを深めていただくことを期待しています。ありがとうございました。
国文学概論 b (abクラス)	大橋 直義	国文学概論 b は、主に説話文学・物語文学をてがかりにしながら、テキストを読む面白さを体感してもらうことを目指した授業でした。とはいえ、なかなか内容も難しく、手応えを得られなかった人も多くいるかもしれません。それでもレポートや日々の授業を通じて、成長したことは間違いないものと思います。2年生以降のさらなる研鑽を期待しています。
国文学概論 b (cdクラス)	佐藤 悟	コメントを記してくれた諸君には感謝します。
国文学概論 b (efクラス)	舟見 一哉	授業自体への不満はないようだが、「Q14. あなたがこの授業で自分に成績をつけるとしたら、成績評価は何ですか？」が極めて低く、自己評価を上げる工夫ができていなかった点を深く反省する。
上代文学演習 2	池田 三枝子	回答数が少ないので判断が難しいところですが、100%が「成長を実感できた」「更に学びたい」としているのは大変喜ばしいことです。全体的に討論が活発で、それを反映してレポートの質も高いものでした。自信をもって今後の学びに繋げていただければと思います。
上代文学史 b	池田 三枝子	90%以上が「成長を実感できた」とし、95%以上が「更に学びたい」と回答しているのは大変喜ばしいことだと思います。双方向授業等の工夫については95%以上が満足しているものの、「どちらとも言えない」という回答が4.5%だったので、質問・意見→回答・展開の機会を更に増やしたいと思っております。
茶道 b	橋本 素子	後期受講ありがとうございました。またアンケートをありがとうございました。 みなさま、総じて前期よりも、より内容の濃いご発表とレジュメの作成をなさっていらっしゃいました。 ご自身のご努力の成果と存じます。 さらに魅力的な授業内容になるように、ブラッシュアップをしてみたいと存じます。
中古文学演習 2	舟見 一哉	高い満足度であったことをありがたく感じるが、回答が7名と極めて少なく、その点を反省したい。次回は周知徹底にさらにつとめる。
中古文学基礎演習 2	舟見 一哉	満足度の高い授業となったことは学生の協力あってこそである。この点、深く感謝したい。ただ回答が5件しかない点は深く反省する。次回の周知方法について熟考したい。
中古文学研究 b	舟見 一哉	受講生の半数以上が回答していないため正しく判断できないが、満足度の高い授業となったらしくありがたく思う。周知方法について再考したく思う。

[2024（後期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
中古文学史 b	庄司 敏子	中古文学を周辺の状況を踏まえつつ学んでいくという狙いは概ね達成できたようであった。 また中古文学に興味をもつことができた学生も複数いたようで、こちらも狙い通りであった。 フィードバックの方法も好評であり、今後もこの形式で継続したい。 一方で、予習・復習の時間を十分にとっていない学生がいたのは反省点である。今後は課題をより工夫して学習時間の確保につとめたい。
中国文学演習 2	田中 靖彦	本授業に対し高い評価をいただき、誠にありがとうございます。 この授業で学んだことを、卒論をはじめとする今後の学びにも活用していただければ幸いです。
中国文学研究 b	秋谷 幸治	例年の授業と同じように、知識を身につける時間と学生自身に考えさせる時間の両方をしっかり設けることを心がけました。後者については、毎回の授業において数分程度の時間を設け、さまざまな設問（例えば劉備の逸話に関して、理想的な上司は曹操型か劉備型かを考えるなど）をmanabaのアンケートフォームにて答えてもらい、各学生の解答を紹介しながら、授業を進めていきました。また三国志演義の読解を通して、理想的な二次創作のあり方を学生に質問した際に、興味深い意見が数多く出て、私自身も色々な発見がありました。授業アンケートの結果を見ると、「中国文学とその内容から考えられる価値観についての考察力と理解が深まった」といった肯定的なコメントを複数もらいました。来年度もこのように、学生の身近な事柄から中国文学を捉えるというアプローチで授業を進めていきたいと思えます。
中国文学史 b	秋谷 幸治	例年の授業と同じように、知識を身につける時間と学生自身に考えさせる時間の両方をしっかり設けることを心がけました。後者については、毎回の授業において数分程度の時間を設け、さまざまな設問（例えば白居易の詩風の変化に関して、作風が変わった身近なアーティストを挙げてもらうなど）をmanabaのアンケートフォームにて答えてもらい、各学生の解答を紹介しながら、授業を進めていきました。また漢詩の掛詞を学んだ際に、倒福などの中国の縁起物についても説明しましたが、非常に興味持ってくれたようで、写真に撮って送ってくれた学生もいました。授業アンケートの結果を見ると、「中国文学の奥深さと面白さを知ることができたので良かった」といった肯定的なコメントを複数もらいました。来年度もこのように、学生の身近な事柄から中国文学を捉えるというアプローチで授業を進めていきたいと思えます。
中世文学演習 2	大橋 直義	一年を通じて、『今昔物語集』を輪読しました。 3年生としてもかなり難しい内容であるにもかかわらず、皆さんしっかりと演習ができたと思います。 可能であれば、ディスカッションにもっと時間を割くことができればよかったかと思えます。
中世文学基礎演習 2	大橋 直義	中世文学基礎演習は、2年生を対象とした科目としてはとてもハイレベルな内容です。であるにもかかわらず、とてもしっかりした発表ばかりであり、円滑に授業を運営することができました。皆さんも自身の成長を感じられたのではないかと思います。
中世文学史 b	太田 克也	アンケートの周知を行なったものの、回答率が3割に満たないため、どれだけ受講者全体の意識を反映できているのかわからないが、理解度については、受講者の自覚と最終的な成績とが、概ね比例しているようである。高校までの古典の授業で触れたことのある作品も、扱う範囲に含まれていたもので、それも影響しているのかもしれない。科目の性質上、あまり深く突っ込んだ講義にはしづらいが、今後はもう少し歯ごたえのある内容にアップデートするなどして、授業をより充実させていきたいと思う。
特殊演習 2	田中 靖彦	本授業に対し大変に高い評価をいただき、誠にありがとうございます。 「漢文のゼミを選択してとても良かった」というありがたいコメントもいただきました。こちらこそありがとうございます。
特殊演習 2	福嶋 健伸	特殊演習なので、他の授業とは別に考える必要があると思われる。「ゼミ生全員が、一定レベル以上の卒論を提出することができた」ということが、指導の結果である。
特殊演習 2	大橋 直義	卒業論文のための授業でした アンケートへの回答はありませんが、皆さんそれぞれに卒論に取り組みましたと思います。
特殊演習 2	大原 祐治	それぞれの課題にじっくり取り組み、精度の高い卒業論文を完成・提出することができました。卒業式の日（永久貸与という形で）手渡される各自の卒論は大事に保管し、たまには手に取って大学時代の達成を振り返ってみてください。おつかれさまでした！

[2024（後期）国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
特殊演習 2	山内 博之	アンケート提出者が1名のみななので、結果に対してのフィードバックがしにくいです…。卒論の口述試験の時に、授業評価アンケートをしてもらうようにすればよかったですと思いました。来年度は気をつけます…。
特殊演習 2	ブルナ, ルカーシュ	みなさん、よく頑張りました。一年という限られた時間で2万5千字の卒業論文を書き上げるのは決して容易なことではありませんが、みなさんの努力が実り、立派な卒業論文を書き上げることができましたね。ほんとうにおつかれさまです。これからも、卒業論文の執筆を通して、また、大学4年間を通して学んだことを積極的に活用しながらがんばってください。
特殊演習 2	池田 三枝子	回答数が少ないので判断は難しいところですが、80%の方が「成長が実感できた」と回答しているのは喜ばしいことだと思います。私の目から見ると、卒業論文を提出した全員が、卒論の執筆を通して、上代文学に対する理解が深まると同時に文章力がアップしていると言えます。昨年4月の段階と比べると、本当に驚くばかりです。
特殊演習 2	棚田 輝嘉	回答ありがとうございます。回答者が少ないので不安ですが、それなりに好評価でホッとしています。ただ、板書による説明など、改善点がありますので、来年度の授業に活かしていきたいと思います。
特殊演習 2	山田 里奈	卒業論文完成に向けて、情報共有や進捗状況の報告を通して、各自が頑張ったと思います。オリジナリティのあるいい論文が完成しました。
特殊演習 2	舟見 一哉	回答が3件しかなく、判断ができない。入力の周知方法について再検討したい。
日本語教育学演習 2	山内 博之	受講者のみなさんがどのように感じているのか、正直なところはよくわからないのですが、私から見ると、毎回楽しそうに課題に取り組んでいるように見えました。期末レポートでは、みなさんの能力の伸びをととても強く感じたので、やはり、伸び伸びと楽しく課題に取り組むことが大切なのではないかと思いました。
日本語教育文法-中級-	山内 博之	授業で扱った内容は、かなり難しかったと思うのですが、期末テストの得点から判断して、しっかりついてきてくれた人が多かったのではないかと思います。宿題にも、熱心に取り組んでくれた人が多かったように思います。ありがとうございました！！
日本語教授法-中級-	山内 博之	日本語教育の中級の授業のありようを、できるだけ生き生きと伝えたかったのですが、うまく伝えられたかどうか、甚だ自身がありません。しかし、受講者のみなさんが提出してくれた宿題の内容は、いつもとても興味深く読ませてもらっていました。期末レポートの読み物は、本当に面白かったです。
日本語文法論 b	福嶋 健伸	本授業の「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」の数値は4.67であり、当該区分平均の4.43や、全体平均の4.42を上回っている。また、「わかりやすく、一回の授業量もちょうどよかったので、集中して授業を受けることができました。古文は生徒が躓きやすい一番のポイントだと思います。前期からの学びを生かして、わかりやすい授業を行えるように日々努力していきたいです。私は前期の日本語文法論aも受講していましたので、前期後期合わせまして、大変お世話になりました。ありがとうございました。」「コースニュースの文がわかりやすく、おもしろさもあったため楽しみながら授業を受けることができました。」「内容を見て課題で復習できるのでとてもわかりやすかったです。」「説明がとても分かりやすく、苦手だった古典を楽しく学ぶことができました。毎時間のアンケートの量もちょうど良かったです。」「というような肯定的なコメントも多く、授業のねらいは成功したと判断できる。オンデマンド、かつ、古典文法がテーマという中で、満足度が平均以上というのは、かなりうまくいった授業だと思われる。
日本文学史 b	片野 智子	まずはアンケート回答ありがとうございます。明治以降の日本文学史について講義させていただきましたが、作家の名前や派閥など、頭に入れなければならない知識があって大変だったと思います。そんな中でも、半数以上の方が「意欲的に授業に取り組んだ」と回答してくださり、また、説明が解りやすかったとも回答してくださっていて、ありがたい気持ちでいっぱいです。皆さんに興味をもってもらえるように、作家の名前だけをただ羅列するのではなく、それぞれの派閥がなぜ生まれ、その中でどんな作品が生み出されていったのかを系統立てて説明するようにしましたが、結果的にはそれがうまくいったようで、とても嬉しく思います。今後も、知識だけをただ詰め込ませるのではなく、時代背景や作家自身の経歴なども結びつけながら、多角的な視点で近代文学の作品を紹介できるようにしていきたいです。課題としては、少し解説レジュメに図版が足りず、物足りない気持ちを抱いた方もいると思いますので、初版の装丁や作者自身の写真などの、視覚情報も盛り込んだレジュメを作れるようにしたいです。